

2017年度 育成幼稚園・自己評価 アンケート

学校法人聖ペテロ学園
育成幼稚園
園長：奥 晋一郎

<1> 本園の教育目標

キリスト教の精神に基づいたモンテッソーリ教育の実践により、神様が与えてくださった大切な子どもたちが自分も大切にすることができる、心豊かで思いやりのある優しい人に成長すること。子どもは生きる力を具えた人格であること、一人の『人』として尊重することを忘れず保育にあたる。

・保育の特色

- 縦割り保育による多様な子どもの交流を豊かにし、思いやり、やさしさ、いたわり等を育む。
- 秩序ある自由の中で自立してゆく子どもの成長を見まもる。
- 一方的な大人の考えをおしてけるのではなく、発達要求をみつめ、子どもたちがそれぞれ生き生きと生活ができるよう促す。

<2> 本年度の重点目標

教育課程の内容を確認し、教職員間の共通理解を図り、設定した評価項目に沿って自己評価をすることによって、教職員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容等の改善に主体的に取り組んでいく。

<3>評価項目の達成 及び 取組状況

評価項目	回答	取組状況
幼稚園の教育課程の編成実施 に関して教職員間の共通理解	2.4	園長、主任を中心に指導計画や記録の作成、保育の実践指導等を行う。
	2.4	定期的に職員会議や話し合いの時間を持ちながら全教職員が一致協力して、望ましい連携体制が取れるように考える。
	2.6	日々の保育を職員全員で振り返る機会を持ち、ひとりひとりの子どもの課題について共通理解を深める。
	2.4	気になる子どもへの対応を職員全員で相談し共通理解を深めると共に全員で援助する。
幼稚園の状況をふまえて 中・長期的なビジョンと 計画を策定	3.0	縦割り保育とクラス単位の活動のあり方の計画を深める。
	3.4	園児の生活・経験が豊かになるよう、少人数だからこその行事や活動を取り入れ、実態に合わせて計画する。
	2.4	発達障害児には、個々の指導計画を作成し、医療、福祉の関係機関と連携を取りながら、日常の指導に配慮する。
	2.8	園児減少に対する策として、未就園児の受入とともに育成幼稚園ならではの保育を、地域へ情報発信（特に市より子育て支援策に関すること）に取り組む。
教育の質の向上のため園内、 園外研修を充実	3.0	園教員の資質向上のため、様々な研修会に参加し、夏休みを利用してはサマースクール等各自が進んで学びたい研修会に参加する。（園が費用負担の研修以外にも）
	2.6	園内では、日々の子どもの姿について話し合う機会を職員会議等でもつようにし日々の保育の見直しを行う。
	2.2	研修内容を検討し、計画的に園内研修（特に、モンテッソーリ教育の実践学習会）を行う。
安全管理と安全環境の充実に 努め園内の環境整備	2.4	危機対策マニュアルを随時見直し、適切な対策を取る。
	3.4	園内行事、日々の保育活動の施設の使用には徹底した衛生安全はもとより、園庭の整備、遊具等安全確認を毎日行い園児たちの遊具の使用には万全の目配りをする。
	3.4	園児への安全指導、避難訓練等の計画をたて、職員間の連携をはかる
預かり保育や子育て支援活動 の推進	4.0	子育て支援として預かり保育を継続する必要がある。保護者の協力を得ながら、預かり保育を実施する。
	3.8	年間を通し「いくせいスクール」や「もも組」等の未就園児プログラムを計画し、地域の子育て支援活動を実施する。
	3.4	長期休暇（夏休み）の夏期保育を含め、預かり保育の過ごし方や、職員体制を計画的に行う。
	3.2	預かり保育の職員体制を見直す。
保護者・地域のニーズの把握 と、適切な対応	2.8	保護者との懇談を定期的実施するとともに行事等についてアンケートを実施。出された意見に対して必要なものについては園の考え方を示し改善すべきものは改善するように取り組む。
	3.2	ホームページの整備や更新（行事だけでなく、普段の子どもの様子）、園だよりやクラス便りの充実をはかる。
	2.6	普段からの関わりなど、主任・職員全体で話し合っていく。
	2.8	市・近隣地域への子育て支援情報を発信する。

結果回答は5段階評価で行いました。

< 4 > 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
幼稚園の教育課程の編成実施に関して教職員間の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい職員構成や職員も迎え、より一層の共通理解を深める。 ・職員全員が一人ひとりの子どもの状況を把握する。 ・行事や保育内容の流れを充分確認し、余裕を持って実行する。
幼稚園の状況をふまえて中・長期的なビジョンと計画を策定	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り保育、自由選択活動を基本としながら、クラス活動の充実や、子どもの活動や遊びの選択の幅を広げていく。 ・いくせいサークルやもも組を充実させる。
教育の質の向上のため園内、園外研修を充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研修として、定期的にモンテッソーリ教育・保育方針・教育目標に添った研修を行う。 ・園外研修の研修報告を行う。 ・外部の相談訪問を利用活用する。
安全管理と安全環境の充実に努め園内の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・園児への安全指導、避難訓練等の計画をたて、職員間の連携をはり、避難訓練の充実させる。 ・遊具等の安全環境整備は日々の点検に加え、定期的に点検を行う。
預かり保育や子育て支援活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の活動内容や職員体制を見直す。 ・長期休暇中の預かり保育を充実させる。 ・未就園児プログラム（いくせいサークル・もも組）積極的に発信し、地域の子育て支援活動に参加する。
保護者・地域のニーズの把握と、適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ園の方針や理念をしっかりと伝えていく。 ・保護者との懇談会を定期的実施し、家庭・保護者との連携を大切に更なる信頼関係をとる。 ・地域の行事に参加できるように取り組む。 ・HP を充実させる。

< 5 > 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められています。